



新年度を迎え

当協会は4月を新年度としており、本年度の事業計画を左記のように行いたいと思っております。又、23年度は東日本大震災における国内事業及びインドの孤児支援・ネパールの学校支援などの海外事業が皆様の御協力を頂きまして、計画通り行われましたことを深く感謝申し上げます。今年度も意義あるボランティアを目指してまいります。皆様のご理解・御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成24年度事業計画

- ◎国内事業
 - ・東日本大震災支援継続
 - ・福祉事業（ディサービスなど）
 - ・活動に必要な資金確保
 - ・「ボランティア便り」の発行・配布
 - ◎ネパール事業
 - ・エル・エンジェル校運営協力
 - 技術競技大会開催
 - ・ゴルメスワリー校運営継続・ミルク
 - 肝油の支給・医療ケア・修学旅行
 - ・ドリケル校運営継続
 - ◎インド事業
 - ・孤児院エル・エンジェルチャイルド
 - ホーム運営継続
- 皆様の善意に支えられてのボランティアです。ご協力お願い致します。
4月22日理事会及び総会を開催しました。

桜畑仮設住宅を訪問

4月11日・12日ボランティア20名で石巻市牡鹿半島にある桜畑仮設住宅へ支援の品物を積んで伺いました。住吉中学校に避難されていた方々は近くの仮設大橋団地に移られていて、542世帯の大規模な仮設

住宅となっており、当協会としては支援が難しく、一〇世帯の桜畑仮設住宅に住まわれる方々を支援させていただくことといたしました。石巻への訪問は四回目、牡鹿半島は二回目となります。石巻市街の中

与えてください。あなたの心が痛むほどに

マザーテレサ

心部はきれいに整備されていましたが、少し中に入るとガレキが積まれている、津波の爪跡が残っていました。少しずつ復興している気配がしていますが、仮設にお住まいの方々のことを思いますと胸が痛みます。今後も支援が必要かと思えます。
左記の品物を届けさせて頂きました

エアポット	110	個
バスタオル	120	枚
タオル	240	枚
鳩サブレ	120	箱
毛糸	650	玉
棒針	50	本
カギ針	50	本
芝桜	120	鉢
おまんじゅう	120	箱

嬉しい再会

住吉中学校に避難されていた方で連絡を取ることができた（自宅を修理し戻られた方々）四名の方を民宿めぐろ荘にご招待させていただきました。震災後はひきこもりがちだったのですが思いがけなくお誘いいただき、感謝します。嬉しそうに弾んだ声に会えて、本当に嬉しく私達も又元気を頂きました。途中の女川原発周辺の変わりように大きな声を出され、すべてが流されてしまった集落に、ここは住宅が一杯だったのに・・・

と、寂しそうに景色を見つめていらつしやいました。一泊二日でしたがゆつくりとされ当協会より渡されたお土産を嬉しそうにかかえて元気に笑顔で帰られました。ご一緒出来て本当に良かった、と思わせて頂きました。

芝桜の苗を植える

今回は、たくさんの品物と一緒に芝桜の苗を持って行きました。現地に着ると雨が降り出しましたが、ボランティアの皆で、ぬれながらも固い土をけずりながら、一つ一つ植えていきました。

仮設住宅の窓が開き、お年寄りの女性が「何をしているの」と言いました。「芝桜を植えているのですよ」と答えましたが、「これからこの窓を開けると、きれいな花がいつも見えるのね。嬉しいわ」と言っていました。



仮設の空き地に芝桜を

「ポットやタオルなどの品物をまとめてあるので、皆様で受け取りにきて下さいね」と伝えると「絶対に行くよ」と笑顔を見せて下さいました。「本当は、ここには住みたくないのだけど、仕方がないよね」と言われましたけれど、芝桜がしつかり根づいて、きれいな花をたくさん咲かせて、少しでも皆様の心をなごませて頂けるようにと心より願いました。

翌日、昼食を終え、店を出たところで「ボランティアの方ですか」と呼びとめられました。「神奈川県に本部があり、宮城県にくるのは四回目です」と言うと「本当にありがたいです。一年が過ぎて他からくる人も少なくなり、淋しい気持ちがあるとき、来て下さるだけでも嬉しいですよ」と言われました。

今回は、現地の方が希望された品物などと、芝桜の苗を持ってきて植えた話を話しました。

「花はいいですね。外を見るとガレキの山ばかりで落ち込むので、花は喜ばれますね」と言って下さいました。

皆様と共に、東北のボランティアの旅に参加させて頂き、ありがたい出会いがあり、とても嬉しい気持ちで頂くことが出来、感謝を致します。

「耳とり作業」初体験

早朝4時半の散歩の折、地元のご夫婦に声をかけさせて頂いたご

縁で、ワカメの収穫作業におじゃまさせて頂きました。

それは、一般的には「芽カブ」としてお店に出ているものですが、そ



ワカメの収穫中

の芽カブの茎から、ヒラヒラの部分を取り除く作業でした。(この作業を地元では耳とりと呼ぶそうです。)

ご夫婦の指導のもと、総勢20人のオレンジジャンパー軍団が、それぞれ耳とり専用の道具をお借りし、4台のテーブルに分かれ作業をさせて頂きました。ヌメリがあるため慣れるまで少し苦戦しましたが、黙々と耳とり作業をする人あり、籠一杯に仕上がった品を運び出したり入れ替えに次の品をテーブルに載せてくれる人あり「お願いします」「ハイ」の掛け声も軽やかに作業は順調に進んで、朝食前の2、3時間でしたが作業は殆ど完了することができました。最初、緊張気味だったご夫妻も、笑顔が出てこられ、一緒になつて笑って下さったのは、本当に嬉しいことでした。

朝食を摂るため民宿に向かう帰り道、男性にお会いしました。「どっから来たの?」「いつ帰るの?」「手伝ってもらいたかったな」お応えできない申し訳なさと、是非、また伺わせていただきたいという新たな思いでお別れしました。

祖母とボランティアに

今回、祖母といつしよに、被災地を訪れ自分の目で見て、感じる事が出来たことで、新たな感情が生まれ、沢山の事を考えるようになり、また有難味も沢山感じました。

一人一人の力は小さくなくても、その気持ちが集まれば、何かを変えられるくらい大きなものになることを知ることが出来たと思えました。

同じ日本でこんなに大きな災害があったこと、そしてこの何気ない毎日、当たり前にいる家族や友人、自分がここに存在できていることへの感謝の気持ちを忘れてはいけないと思えました。だから今の自分にできることを精一杯やろうと思えます。そして、今回、お世話になった方々本当にありがとうございます。(高校3年生)

母とボランティアに参加して

テレビの中の出来事だった東日本大震災の被災地。縁がかさなり、急遽、母とボランティアに参加させて

いただきました。一年たった今でも被害の大きさはどこを見ても分かり言葉を失いました。

宿泊した民宿の方、お話をすることができた現地の方、語られた話は壮絶でつらいものでしたが、みなさん前を向かれていて。遠く離れた地で映像をみただけで目を背け分かった気になつていた自分が恥ずかしくなりました。

大きな支援は私にはできないかもしれないけれど、若い私達が今回の震災を忘れることなく小さなことでも心がけていくことが復興に繋がって行くと思えます。

本当に今回はご一緒出来てよかったです。ありがとうございます。

繋がるボランティアに感謝

当ボランティアも法人として19年がたち、親子そしてお孫さんへとお繋げいただけますご様子に、心から感謝申し上げます。

お礼の言葉をいただいて

支援物資をお渡ししているとき、「暮れにも毛布やズボンなどをいただきましてありがとうございます。仮設の皆様からお礼の言葉をいただきました。皆様のおかげで、お役に立つことができましたありがとうございます。

支援物資の購入にあたり

皆様からお預かりしましたお心のこもったご寄付。支援物資を購入させていただくときには、品質の良い物を一円でもお安くと心しております。

おいしい鳩サブレ

今回、皆様に喜んでいただけるお茶菓子と思い、豊島屋様の銘菓「鳩サブレ」にいたしました。そこで、豊島屋様に当協会の活動内容をお伝えして、少しでもお安く購入させていただきたいと、申し出ましたところ、活動に深く感銘をいただき、二十箱二万一千円分の鳩サブレをご寄付いただきました。多くの方が流された海、風が冷たく寒い浜辺でのお仕事を黙々としてらっしゃった、お年寄りから「昨日の鳩の菓子はおいしかったのお」と、笑顔とお言葉をいただきました。体力を使うお仕事で甘い物を喜んでいただきました。おいしい物を食べる幸せを感じていただいたのではないのでしょうか。日常の当たり前を過ごせる時間に感謝すること、その中にささやかな幸せを感じることができることが本当の幸せなのだと思えました。亡くなった方々の分も、幸せに長生きしていただきたいと、心から思いました。

鳩サブレは格別に皆様に喜んでいただくことができ、豊島屋様のお力添えのおかげと心よりお礼申し上げます。

ポットを望まれて

当協会では被災された方が必要とされているものを支援させて頂きたいと常に思っています。桜畑仮設住宅の皆様からの今回のご要望は「電気のないポットが欲しい」ということでした。使いやすさを考えてエアポットを購入させていただきました。急ぎ、メーカーさんに直接卸値で売っていただくのと要望書を書かせていただくと同時に、インターネットで最安値の販売先を検索したり、スーパーやホームセンターなどに電話して、支援物資としてお届けすることを説明して、在庫数や価格をお聞きしました。「広告の売り出しで良いものがあります」と教えていただいたお蔭で、日本製で品質の良い品をお安く購入することが出来、仮設住宅の方々にお届けいたしました。電気代を惜しまれたことかと思っていきましたが、それもおありでしょうが、ワカメ採りの作業の場でも、ポット持参の方がいらつしやいました。海辺での長時間の作業にはポットは必需品といえるのでしよう。エアポットは皆様からとてもお喜び頂くことが出来ました。



支援物資、喜ばれて

楽しみな毛糸

昨年2度、心のケアを目的として、避難所に毛糸を持参しマフラーやエウタわしを編んで楽しんでいただきました。その時、当協会の活動に感銘をいただき、毛糸や棒針を卸値で販売してくださった後生産業様にお願ひしましたところ、今回も快諾していただき毛糸650玉、かぎ針50本、棒針50本を卸値で販売してくださいました。お届けさせていただいた仮設にお住いの方々は、それぞれお好きな色を選ばれ、「何、編もうかな、楽しみだね」「編み物していると時間を忘れるんだよね」といいながら、選ばれるご様子なんとも嬉しそうな表情に、こちらまで嬉しくなりました。

パンジーの花、元気でした

このたび、石巻の方達との待ち合わせ場所とした住吉中学校前、学校は授業中とて、校庭も静まりかえっていました。去年の4月、自衛隊の車や煮炊きする人・避難された人たちで溢れていたことが昨日のことのように思い出されました。あの時プランターに植えたパンジーの花、花が見たくそつと覗いてきました。お手入れされていて、黄・青・ピンクと元気よくきれいに咲いていました。私達の思いを解つてくださり大切に育ててくださった現地の皆様のがたく、熱いものが胸にこみ上げて

きました。絆がここにもありました。

春の海

波間の鳥に 目を凝らし

吾子かと思ひ 名を呼ぶる日々

我が子を津波に持っていかけたあの日から一年以上たった今も、我が子を探して海辺にたたずむ母あり、とのこと。ああ、母よ！・

手作り市の報告

4月8日 厚木の手作り市に出店いたしました。当日はスイーツデコの体験コーナーを設けました。小学生の女の子達が、自分の好みのパーツを選び、楽しそうに鏡などを作ってくれました。またその様子を嬉しそうに写真におさめる親御さんに、インドの孤児院の援助になる事をお伝えいたしました。

羊毛フェルトで天使を

支える会では活動に必要な資金確保のため、当協会のシンボルマークのエンジェルのマスコットを作りたいと思っております。バックや車内のミラーに着けることが出来るストラップで、只今試作中です。完成品ができましたらお知らせさせていただきます。ご協力お願いいたします。

相手を尊ぶという

「仮設の方々にはタオルいかがでしょうか？今治のタオルです」と、U様から有難いお申し出をいただき桜畑仮設住宅にお住いの方々にお持ちすることができました。

昨今、中国製品が多い中、今治タオルは貴重品です。4月の牡鹿半島へも妹さんとともにご参加され、当日、開いた箱からそれはそれは上等のバスタオル120枚とタオル240枚。これをセットにし、きれいにラッピングして仮設の皆様にお手渡しされました。皆様大事そうに胸にかかえ、とても嬉しそうでした。U様から、相手を思いやることの大切さ、と、ともに相手を尊ぶことの大切さをお示しいただき、深く感謝いたしております。



進和学園様よりご寄附を戴く

二月二十八日 平塚市役所市長室で、他の団体と一緒に進和学園本自治会様より寄附金を戴きました。当協会には今回で十四回目となり、長年にわたるご支援に感謝を深めております。ネパールの子供たちの教育のため、大切に使用させていただく所存です。今回は、冊子を作ることので当協会より前理事長が出席し、インタビューを受けられました。

南毛利中学校様より

今年も厚木市立南毛利中学校の生徒の皆さんによって集められた、沢山の文具を当協会に頂きました。生徒の皆さんのあたたかい思いが、毎年引き継がれボランティアの輪が広がっていることをうれしく思います。11月ネパール訪問時に子ども達に手渡したいと思えます。

ネパールボランティアの旅

参加者募集

出発 十一月十七日(土)
羽田発 00・20分
関空発 00・30分
帰国 十一月二十五日(日)
成田着 06・15分ごろ
福岡着 08・00ごろ

現地に於いてのボランティアは三校訪問・技術大会・修学旅行引率等。お申込みは本部(TEL 046-236-1001)までお願いいたします。

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしくお願ひいたします。

○ 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号 10290 口座番号 68107191
ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719
三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597

支える会より

報告とお礼

「お役に立ててください。叔母からいただいた指輪です。私がつけているより、叔母も喜ぶと思うので」と、尊いお心も添えられ、ご寄付頂きました。又、ハガキ・切手・金やプラチナのアクセサリ等々皆様のお心でたくさんのご寄付を頂きました。

四月から三月までの一年間で合計金額は395,120円になりました。

活動資金に使わせていただきました。ありがとうございます。

今後も引き続き、商品券、ビール券、クオカード、旅行券、図書カード、貴金属、テレホンカードなど集めています。ご協力、宜しくお願ひいたします。

バザーの日程

町田成瀬台まつりバザー
7月28日(土) 12時〜22時まで
7月29日(日) 14時〜22時まで
子どものくじを作りますので本の付録・新品の小さなおもちゃ・文具類・景品・他に手作り品・シュシュ・髪かざり・アクセサリのご寄付をお願い致します。当日は人手が足りませんので販売のお手伝いしていただける方を募っています。ご都合のつく時間だけでも結構です。よろしくお願ひ致します

編集後記

石巻へ行ってきました。明日に向かっている人達の姿がワカメ採りの中でも、町の中でも見ることが出来ました。明日を信じてと思いました。(S・I)